

日本心理臨床学会 第35回秋季大会 一般公開プログラム

1. 会期 : 2016年9月4日(日)~9月7日(水)
2. 会場 : パシフィコ横浜
(横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
3. アクセス : 【東急東横線・みなとみらい線】
みなとみらい駅より 徒歩 3 分
【JR 横浜線】
桜木町駅より 徒歩 12 分
バス 7 分
タクシー 5 分

日本心理臨床学会秋季大会は、日本心理臨床学会会員のみ参加可能ですが、講演やシンポジウムの一部を一般公開として、どなたにも参加いただけるようにしています。

会員ではない方は、事前の手続きや参加費は不要です。大会当日、会議センター1階エントランスホールの総合案内受付にお越しください。

この「一般公開プログラム」に記載されている講演やシンポジウム以外は、会員の研究発表を含め、参加することができませんので、あらかじめご了承ください。

一般公開

実行委員会企画基調講演

9月5日(月) 13:00~15:00
メインホール

21世紀日本における家族・地域との協働

司会者：飯長 喜一郎（国際医療福祉大学大学院特任教授）

基調講演：亀口 憲治（国際医療福祉大学大学院教授、大会実行委員長）

「21世紀日本の心理臨床における家族・地域との協働」

S・マクダニエル（ロチェスター大学教授、APA会長）

「21世紀のヘルスケアにおける心理臨床—米国の現状」

※同時通訳を行います。

一般公開

実行委員会企画国際シンポジウム

9月5日(月) 15:30~17:30
メインホール

21世紀の心理臨床における家族・地域との協働

司会者：鹿島 晴雄（国際医療福祉大学大学院教授）

飯長 喜一郎（国際医療福祉大学大学院特任教授）

基調講演：J・ソバーン（シアトル・パシフィック大学教授、IAFP会長）

「個人・家族・地域の協働を促進する人材の育成」

大野 裕（認知行動療法研修センター長）

「地域における予防的心理教育プログラムの推進」

指定討論者：S・マクダニエル（ロチェスター大学教授、APA会長）

亀口 憲治（国際医療福祉大学大学院教授、大会実行委員長）

大熊 保彦（東京家政大学教授、日本家族心理学会理事長）

※同時通訳を行います。

一般公開

学会賞受賞者講演

9月5日(月) 15:30~16:30
503 会議室

臨床動作法からみた心理療法における体験様式の変容

講演者：鶴 光代 (東京福祉大学)

司会者：針塚 進 (中村学園大学)

一般公開

奨励賞受賞者講演

9月5日(月) 16:40~17:40
503 会議室

臨床心理学的視点による全人的復職支援

講演者：中村 美奈子 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉障害者職業センター)

司会者：新田 泰生 (神奈川大学大学院)

一般公開

実行委員会企画シンポジウム 1

9月5日(月) 13:00～15:00
503 会議室

喪失を経験した家族への支援の現状と課題

司会者：白井 明美 (国際医療福祉大学大学院)

企画・主旨説明：白井 明美 (国際医療福祉大学大学院)

シンポジスト：中島 聡美 (国立精神・神経医療研究センター)

「災害による喪失に対する家族およびコミュニティベースの支援」

浅井 真理子 (帝京平成大学)

「がん医療における家族支援」

米虫 圭子 (京都産業大学学生相談室)

「喪失を経験した大学生への支援と現状」

指定討論者：石井 千賀子 (TELL カウンセリング・ルーテル学院大学)

一般公開

実行委員会企画シンポジウム 2

9月5日(月) 15:30～17:30
501 会議室

認知症と向き合う心理職のために —本人と家族への具体的支援を通して—

司会者：小野寺 敦志 (国際医療福祉大学大学院)

沼田 悠梨子 (医療法人相生会 認知症センター)

企画：小野寺 敦志 (国際医療福祉大学大学院)

シンポジスト：松田 修 (国立大学法人東京学芸大学)

太田 一実 (順天堂大学医学部付属順天堂東京江東高齢者医療センター)

鈴木 亮子 (鈴鹿医療科学大学)

一般公開

実行委員会企画シンポジウム 3

9月6日(火) 10:00~12:00
メインホール

精神分析とシステム論の対話 — 個人、家族、地域の協働に向けて —

司会者： 内田 利広 (京都教育大学)
話題提供者： 山崎 篤 (中村学園大学短期大学部)
西出 隆紀 (愛知淑徳大学)
西村 馨 (国際基督教大学)
鴨澤 あかね (北星学園大学)
指定討論者： 恒吉 徹三 (山口大学)

一般公開

実行委員会企画シンポジウム 4

9月6日(火) 13:00~15:00
501 会議室

これからの保育心理臨床を考える — 家庭・保護者支援を中心に —

司会者： 亀口 憲治 (国際医療福祉大学大学院)
企画・趣旨説明： 飯長 喜一郎 (国際医療福祉大学大学院)
シンポジスト： 安家 周一 (学校法人あけぼの学園)
柳瀬 洋美 (東京家政学院大学)
馬見塚 珠生 (親と子のこころのエンパワメント研究所・京都府私立幼稚園連盟キンダーカウンセラー)
指定討論者： 飯長 喜一郎 (国際医療福祉大学大学院)

一般公開

実行委員会企画シンポジウム 7

9月7日(水) 10:00~12:00
メインホール

21世紀日本の心理療法

司会者： 飯長 喜一郎 (国際医療福祉大学大学院)

企画・主旨説明： 亀口 憲治 (国際医療福祉大学大学院)

秋田 巖 (京都文教大学)

シンポジスト： 秋田 巖

「日本発の心理療法の現在」

亀口 憲治

「日本発の家族心理療法の可能性」

妙木 浩之 (東京国際大学)

「日本語による心理療法の深化」

指定討論者： 鹿島 晴雄 (国際医療福祉大学大学院)

松田 真理子 (京都文教大学)

一般公開

国際交流委員会企画シンポジウム

9月5日(月) 10:00~12:00
メインホール

日本文化に適した心理療法の発展を考える —仏教を源流とする“マインドフルネス”をテーマとして—

司会者： 金沢 吉展 (明治学院大学)

第1部 基調講演『マインドフルネスとは何か—米国での実践から日本への提言』

講演者： 大谷 彰 (Spectrum Behavioral Health・米国)

第2部 シンポジウム『仏教とマインドフルネス、そして日本文化と心理療法』

指定討論1： 下山 晴彦 (東京大学) 「臨床心理学の観点から」

指定討論2： 藤田 一照 (曹洞宗国際センター所長) 「仏教の観点から」

一般公開

広報委員会企画シンポジウム

9月5日(月) 10:00~12:00
501 会議室

心理臨床家の成長とは

- 司会者：青木 紀久代(お茶の水女子大学)
平野 直己(北海道教育大学)
- 話題提供者：内海 新祐(川和児童ホーム)
津田 真知子(大阪心理臨床研究所/NPO 法人子どもの心理療法支援会)
徳田 仁子(京都光華女子大学)
古田 雅明(大妻女子大学)
谷田 征子(お茶の水女子大学)
- 指定討論者：北山 修(北山精神分析室)
長谷川 啓三(東北大学)
平野 学(慶応義塾大学)
- 企画者：青木 紀久代・北山 修・西河 正行(大妻女子大学)
長谷川 啓三・平野 直己・平野 学

一般公開

支援活動委員会企画シンポジウム

9月6日(火) 10:00~12:00
501 会議室

支援活動の裾野を広げるために

- 司会者：窪田 由紀(名古屋大学)
平野 直己(北海道教育大学)
- 主旨説明：平野 直己(北海道教育大学)
- 話題提供者：金 吉晴(国立精神・神経医療研究センター・災害時こころの情報支援センター)

一般公開

カリキュラム委員会・資格関連委員会 合同企画シンポジウム

9月6日(火) 13:00~15:00
メインホール

公認心理師制度の現状と今後

登壇者： 松本 千寿 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 公認心理師制度推進室 主査)
村瀬 嘉代子 (一般財団法人日本心理研修センター理事長/大正大学大学院)
鶴 光代 (本学会理事長/臨床心理職国家資格推進連絡協議会会長/東京福祉大学大学院)
富永 良喜 (本学会前カリキュラム委員会委員長/兵庫教育大学)
佐藤 忠彦 (精神科七者懇談会心理職の国家資格委員会委員長/社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会理事長)
司会者： 津川 律子 (本学会前資格関連委員会委員長/日本大学)
宮崎 昭 (本学会現資格関連委員会委員長/山形大学)

※シンポジウムのタイトル・登壇者等更新しました。

一般公開

学会総合検討委員会
自殺対策専門部会企画シンポジウム

9月7日(水) 10:00~12:00
503 会議室

「自殺の語り方」を考える

シンポジスト： 野村 直樹 (名古屋市立大学人間文化研究科名誉教授)
内野 悌司 (広島大学)
司会者： 勝又 陽太郎 (新潟県立大学/学会総合検討委員会自殺対策専門部会)
高野 久美子 (創価大学/同上)

一般公開

プレコングレス：シンポジウム 1

9月4日（日）13:00～16:15
メインホール

文化のトラウマとその癒し・世界における心理療法家のアプローチ

第1部 基調講演

講演者：Ann Casement（ユング派分析家 国際分析心理学会倫理委員長 英国在住）

「文化と不死鳥：灰からのよみがえりー文化における世界大戦のトラウマとその回復」

司会者：吉川 眞理（学習院大学）

第2部 シンポジウム

シンポジスト：Eva Pattis Zoya（臨床心理士 ユング派分析家 箱庭療法家 イタリア在住）

「子どもの箱庭に表現された個人および集団のトラウマ」

シンポジスト：Henry Abramovitch（テルアヴィヴ医科大学教授 臨床心理士 ユング派分析家 イスラエル在住）

「文化間紛争の深層に動く兄弟コンプレックス」

シンポジスト：Murray Stein（ユング派分析家 元 International School of Analytical Psychology 代表）

「文化のトラウマと向き合う癒し手の役割」

指定討論者：河合 俊雄（京都大学こころの未来センター教授 臨床心理士 ユング派分析家）

※当日使用するパワーポイントには日本語字幕を付け、討論部分は逐次通訳を行います。

一般公開

プレコンgres: シンポジウム 2
(子育て支援合同委員会共催)

9月4日(日) 16:30~18:30
メインホール

子育て支援と臨床心理士
—保育現場との出会い—

司会者: 深津 千賀子 (国際医療福祉大学)

青木 紀久代 (お茶の水女子大学)

話題提供者: 上村 初美 (全国保育士会会長)

宮本 正彦 (横浜市こども青少年局子育て支援部長)

増沢 高 (子どもの虹情報研修センター)

高橋 幸市 (一般社団法人日本臨床心理士会)

指定討論者: 植木田 潤 (宮城教育大学)

繁多 進 (白百合女子大学名誉教授)

吉田 弘道 (専修大学)

企画者: 滝口 俊子 (放送大学名誉教授)・亀口 憲治 (国際医療福祉大学)・菅野 信夫 (天理大学)

高橋 幸市・馬場 禮子 (中野臨床心理研究室)・繁多 進・深津 千賀子・吉田 弘道

青木 紀久代